

Handwritten text at the top of the page, possibly a title or author name.

Small printed text or stamp below the first line of handwriting.


Second line of printed text or stamp.

Third line of handwriting, possibly a date or volume information.

Small printed text or stamp below the third line of handwriting.

Fourth line of printed text or stamp.

JICA LIBRARY



J 1154061 (4)

Small printed text or stamp below the library label.

Line of printed text or stamp at the bottom of the main content area.

105  
36  
TAY  
BRARY

105  
36  
TAY

---

**青年邀请计划 —中国— [交流报告书] (1997)**

1998年3月31日

发行 国际协力事业团研修事业部 青年招聘课  
〒151-8558 东京都澁谷区代々木2丁目1-1  
新宿MAYNDS TOWER

电话 (03) 5352-5402~3

编辑 财团法人 日本国际协力中心 国际交流部  
〒163-0109 东京都新宿区西新宿2-1-1  
新宿三井大楼内

电话 (03) 5322-2561

---

未经许可不得转载。





# 信頼と友情への第一歩

## 走向信頼与友谊的第一步

平成9年度新日中青年の友情計画／新中国実務者招へい計画  
1997年度新中日青年友谊计划／新中国基层工作人员邀请计划

### 開演式 歓迎式



- 緊張の中でプログラムがスタート
- 在充满紧张的气氛中开始日程



- 国際協力事業団より歓迎のあいさつ
- 国際協力事業団代表致歓迎詞



- ええと…何と言えばいいのかな？(日本語学習にて)
- 呢……怎么说好呢？(日语学习)



- すみません、ビール、お願いします。(日本語学習にて)
- 劳驾，我要啤酒。(日语学习)

### 共通プログラム 共通活动



- 下水処理場を見学
- 参观污水处理场



- 熱心に質問を浴びせる青年
- 热情地发提问

## 分野別都内プログラム

東京分団活動



●見学先で説明を受ける青年  
●在参観地方听说明



●真剣なまなざし  
●熱切注目



●コカ・コーラボトリングを訪問  
●訪問可口可乐制造厂



●意見交換も活発  
●熱烈交換意見

## 合宿セミナー

合宿研讨会



●夜の楽しいひととき  
●愉快的夜晚



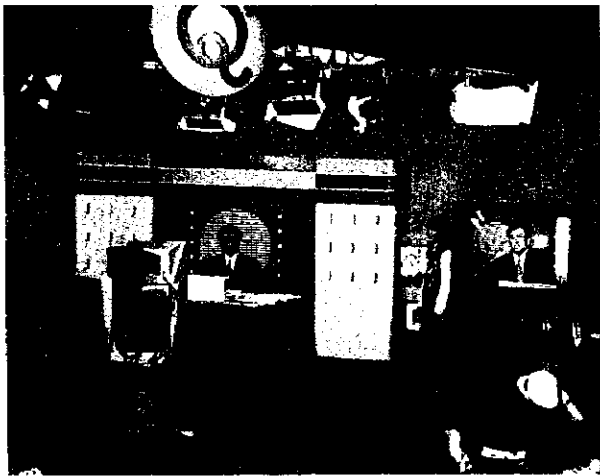
●ディスカッションはさらなる友情へと  
●讨论加深友谊



●チームワークは抜群さ!!  
●配合得出色!!

# 分野別地方プログラム

地方分団活動



- 放送局を訪問
- 訪問电视台

# ホームステイ

民宿活動



- 新しい家族ができました
- 有了新的家属



- 一つひとつが楽しい思い出
- 各場面都是美好的回忆



- 出会えてよかったね
- 认识你很高兴



- まるで昔からの友達のように……
- 象以前就朋友似的……



- 心が通い合うって素晴らしい!
- 心心相印!

## 見学旅行 参观旅行



- 金閣寺を背景に
- 以金閣寺为背景

## 歓送会 欢送会



- 国際協力事業団から参加証の授与
- 国際協力事業団代表頒发参加証



- 感激は最高潮へと
- 激动的气氛达到最高潮



- また会いましょう
- 一定再会



- 1カ月の思い出を胸に…ありがとう
- 抱着一个月的回忆……谢谢



- プログラムが無事終了
- 圆满结束了日程



# 青年招へい事業

## 青年邀请计划

日本語編・日语篇 .....	3
中国語編・中文篇 .....	39



# 青年招へい事業



1154061 (4)

## はじめに

「青年招へい事業」は、国際協力事業団（JICA）が開発途上国を対象に実施する技術協力の一環として、アセアンをはじめ、アジア・太平洋・アフリカ・中南米諸国などから、将来の国造りを担う青年を、専門分野別に1カ月間招へいし、それぞれの分野について学ぶとともに、ホームステイ受入家族などとの幅広い交流を通じて相互理解を深め、信頼と友情を築くことを目的としています。

招へい国は当初アセアン6カ国でしたが、現在では太平洋諸国・地域、ミャンマー、中国、韓国、南西アジア諸国、モンゴル、アフリカ諸国、カンボディア、ラオス、ヴェトナムのインドシナ3国、および中南米諸国が加わり大きな広がりをもってまいりました。

平成9年度は、1,593名の青年を受け入れ、昭和59年度より平成9年度までの14年間で、日本を訪問したアジア・太平洋・アフリカ・中南米諸国の青年は16,602名に達しました。これはひとえに、関係各方面の皆様のご協力と温かいご支援によるものと、心からお礼申し上げます。

本報告書は、招へい青年、合宿セミナーに参加した日本青年およびホームステイを引き受けていただいた全国の家庭の皆様から寄せられた感想文を中心に、招へい青年の1カ月の滞在記録をとりまとめたものです。本報告書が本事業のさらなる発展の指針となり、また皆様の良き思い出の一助となれば幸いです。

なお、本報告書は今年度の全招へい青年および各国の関係者にも送付させていただく予定です。

最後となりましたが、心温まるご感想、ご意見をお寄せいただいた皆様ならびに関係者の方々に重ねて厚くお礼申し上げますとともに、「青年招へい事業」がさらに有意義な交流プログラムとなりますよう、今後ともご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

平成10年3月

国際協力事業団  
研修事業部  
部長 森本 勝



# 目次

## はじめに

1. 新日中青年の友情計画	
(1) 事業の概要	11
(2) 招へい実績	12
2. 招へい青年の印象	15
3. 合宿セミナー参加日本青年の声	17
4. ホストファミリーの思い出	19

1. 新中国実務者招へい計画	
(1) 事業の概要	23
(2) 招へい実績	24
2. 招へい青年の印象	27
3. 合宿セミナー参加日本青年の声	29
4. ホストファミリーの思い出	31

## 実績資料

1. 実績一覧	
(1) 「新日中青年の友情計画」実績一覧	34
(2) 「新中国実務者招へい計画」実績一覧	35
2. 平成9年度青年招へい実績一覧	36





# 新日中青年の友情計画



# 1. 新日中青年の友情計画

## (1) 事業の概要

### 1) 事業の目的

「新日中青年の友情計画」は、日本と中国の青年の交流を通じ、21世紀に向けて、より良き未来と平和と繁栄を分かち合うために、相互理解と信頼を培うことを目的とする。

### 2) 実施方法

#### (a) 招へい人数

平成9年度は、100名を同時期に受け入れる。

#### (b) 招へい対象者

下記分野における指導的立場にある20～35歳の青年。

##### (i) 青年指導者 25名

青少年活動者及び関係者、スポーツ・文化・社会奉仕等団体関係者。

##### (ii) 経済青年 25名

企業等勤労者、公務員、ジャーナリスト。

##### (iii) 公務員 25名

他の分野に該当しない一般公務員。

##### (iv) 教員 25名

教育機関教員、教育関係公務員。

#### (c) 招へい期間

10月8日から11月6日までの1カ月間。

### 3) プログラム概要

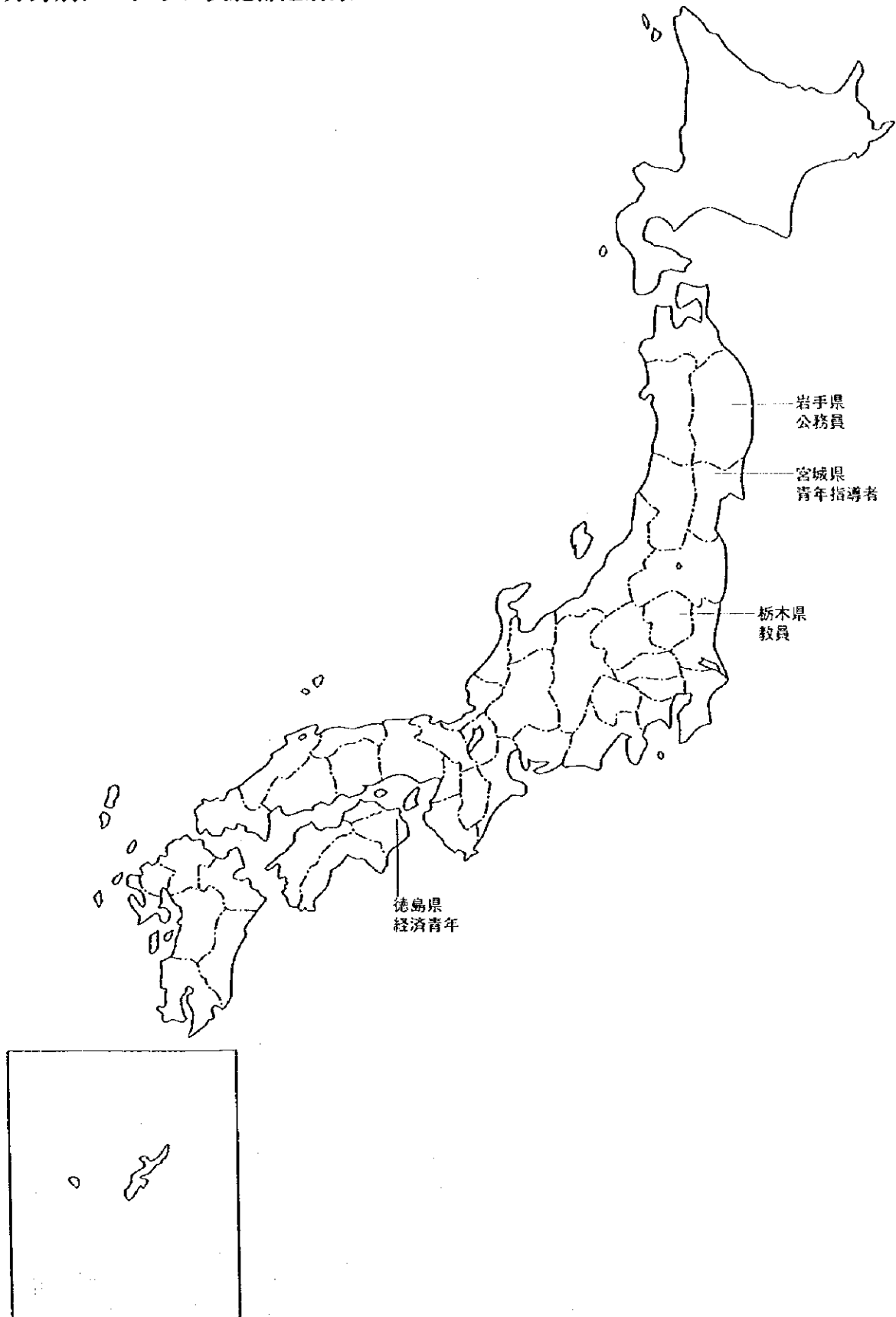
(数日間)	現地オリエンテーションプログラム	日本でのプログラムについての説明 日本語の日常会話の学習 渡航に係る説明等	
	来日	共通プログラム	日本の全体像について、正確な理解を促進するための文化、経済、歴史等の講義及び施設見学
(二カ月間)	分野別プログラム	都内 分野別プログラム	招へい分野の講義や関連施設の視察、研修
		合宿セミナープログラム	日本の同世代同分野の青年との意見交換、交流の場
		地方 分野別プログラム	招へい分野の講義や関連施設の視察、研修及び地方青年との交流等のプログラムの展開
		ホームステイプログラム	日本の家庭生活の体験
		見学旅行プログラム	日本の文化、伝統、歴史等を理解するための見学旅行
帰国	評価プログラム	全プログラムに関する評価会	

### (2) 招へい実績

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県
青年指導者	25	日本ユースホステル協会	宮城
経済青年	25	日本経済青年協議会	徳島
公務員	25	ユースワーカー能力開発協会	岩手
教員	25	国際交流サービス協会	栃木

\*共通・評価プログラムについては、日本国際協力センターが全グループに対して実施した。

### 分野別プログラム実施都道府県





## 2. 招へい青年の印象

### 積み重ねという敬業精神

範 継英  
(青年指導者グループ)

敬業(誠心誠意つとめる)精神が日本経済を速く、バランスよく発展させた重要な駆動力であるとするれば、小さなことの積み重ねこそが日本人の敬業精神の表れである。これは私が今回の日本訪問で感じた様々な事柄の中で、最も印象深かった点である。仕事というものは、細かい仕事の組み合わせで成り立っている。小さな仕事の成功があってこそ、全体としてレベルの高い仕事を完成させることができるのである。したがって、小さな仕事への対応の仕方にその人の敬業精神が色濃く映し出されてくる。日本ではひとりひとりが小さなことでも完璧にやり遂げようとしており、このことが社会全体の敬業精神を作り上げているのである。私たち現代の中国青年は、日本人の積み重ねの敬業精神を学ぶべきである。

### 豊かな実り

毛 曉峰  
(経済青年グループ)

このたびのプログラムは、日本側の受入団体、および関連実施団体の細やかな手配のもと、内容は豊富で多彩、時間配分も無駄のないものだった。私たちは、短い時間の中で、日本社会の各方面について、

ある程度全面的な理解を得ることができた。中日両国民間の純真な友情を深めることができた。特に、現在の日本経済の仕組み、状況および過去の発展過程における経験と教訓に関して、具体的な認識を得ることができた。これらの経験と知識は、中日両国の友情と協力関係を深め、中日両国民の間の友情を深めるために多大な影響をもたらすであろう。また、団員一人ひとりの今後の仕事のよい助けになっていくと思う。

### 時空を超えた1カ月

張 萃  
(公務員グループ)

新日中青年の友情計画に基づき、私たち公務員代表団の一行25人は、日本で忘れ難い1カ月を過ごした。東京の「密」、岩手の「情」、京都の「美」、大阪の「粋」、そして広島島の「魂」……すべては私たちの記憶の中で永遠に生き続けるであろう。

私たち25人は中国の16の省と市から集まったが、JICA、ユースワーカー能力開発協会並びに岩手県国際交流協会の手配してくださったプログラムが非常に豊かであり、一般の日本人の仕事や生活ぶりを理解し、自由社会の良好な発展形態としての日本を把握するうえで、誠に有益であったという感想においては一つに帰納された。

私たちはとても充実した日々を過ごし、研修、交流ともに実り豊かな成果を収め、とりわけホームステイと合宿では、幅広く日本の友人と接触し、厚く深い絆を結ぶことができた。その中でもホストファミリーの5歳の娘、山田リドさんは私を「中国のママ」と呼び、大きくなったら中国に行くと言ってくれたのである。この時空を超えた1カ月間、私たち

はより深く日本を理解し、そして日本が好きになった。

---

## 日本訪問の感想

---

陳 立中  
(教員グループ)

日本で1カ月間、視察、研修を行い、講義、参観、交流、ホームステイ、見学などのプログラムを通じて、日本の社会、特に教育についてかなり理解することができた。教育の法律やガイドラインが整っていて、体制が合理的に整備され実行されていること、目標がはっきりと具体化されていること、一連の設備が完備されていることなどに啓発された。日本の教育が、社会の経済発展や民族の道徳のレベル向上に大きな役割を果たしていることが分かった。また、いたるところで、関係団体や人々、特にホストファミリーやコーディネーターの友好的な思いやりや行き届いたもてなしを受けた。彼らの真面目な仕事ぶりや、集団意識を持った立派な態度は私たちのお手本になった。



## B. 合宿セミナー参加日本青年の声

### 漢字と笑顔でShall we dance?!

齋藤 佳子  
(教員)

松島の美しい海辺で、晴天にも恵まれ、たいへん有意義な時を過ごすことができた。

中国語はできないが、交流をしたくて、常にペンとノートを持って筆談に挑戦した。中国青年は、笑顔で、忍耐強く、私の言いたいことを分かろうとしてくれた。通じた時はとてもうれしく、共通の文化を持っていることを実感した。

社交ダンスでは、紳士の皆さんのリードで、なんと練習(事前研修で特訓したのだ)していなかったワルツを踊ることができた。うれしさに、心がときめいた。

中国語の全くできない私が、こんなにも楽しい時を味わうことができたなんて驚きだ。やはり、人類は皆兄弟だ。貴重な機会に感謝している。

### 歌って踊って日中交流!

吉田 祥子  
(会社員)

私は今回の合宿セミナーに参加し、多くのことを学んだ。

分科討論会では、中国人青年たちが自国に対して誇りを持っていること、また文化や歴史、何よりも家族を大切にしていることを知った。中国では仕事も家事も、男女平等であると聞き、うらやましいと感じたりもした。同じ東洋人でも価値観には隔りがあると痛感した。

一方で交流パーティーでは、日本人青年たちの阿波踊りに中国人青年全員が加わって一緒に踊ったりと、楽しいひとときを過ごした。文化や価値観に相違があっても、酒や歌、踊りを介して気持ちが通じ合うのを感じた。

仕事漬けの毎日で視野が狭くなりがちな私だが、素晴らしい体験ができた。一緒に参加した皆さんに“謝謝”の気持ちでいっぱいだ。

## たくさんの中国人“丈夫”に囲まれて

向井 紀子  
(会社員)

交流パーティーの打ち上げを中国人の青年たちと車座になって楽しんでた時である。中国式結婚の乾杯をしようということになった。乾杯の方法は新郎新婦がそれぞれ杯を持ち、その手を互いに組んだ状態で飲み干すもの。お酒に弱い私ではあったが、中国側の指名を受けていざ乾杯。とたんに私の顔はまっ赤。日頃これが恥ずかしくて飲まないのだが、顔色の変化が中国青年に受けて“桃花”にたとえられ、習いたての「キレイデスネ」の連発。私も調子によって何人もの青年と結婚の乾杯。連続の乾杯で頭がボーッとし、私の新郎さんたちが誰だったか忘れてしまったが、青年たちが私に“素敵な中国人男性”を紹介すると約束してくれたことは忘れられない。ところで乾杯の練習が役立つ日がくるのだろうか。

## 出会いは偶然だったけれども……

中村 千春  
(大学生)

なんて人間味あふれる人たちばかりなのだろう！自分の気持ちに正直だ。中国から来た彼らは何に対しても純粋で無邪気で一生懸命だという印象を受けた。「年甲斐もなく」という言葉は、彼らには似合わないと感じた。

今回出会ったのは中国の中でもごく一部の人に過ぎない。広い中国全土にはまだまだたくさんの人たちがいる。これから先、この合宿で培った「素晴らしい中国人観」に疑問を持たせるような出会いもあるかもしれない。そんな時に、世の中いろいろな人がいるんだなと思える心のゆとりをもたらしてくれることが、今回の出会いだと思う。このように貴重な出会いの場を提供して下さった多くの関係者の方々に、心から感謝している。中国の人たちとの出会いは私の心の中での一生の宝物だ。

## 4. ホストファミリーの思い出

### 心の交流

真下 輝子  
(岩手県)

まず最初に私のことを少しお話ししたい。私がホストファミリーになったきっかけは、昨年のクリスマス・イブに夫を病気で亡くしたことだ。

今一番父親を必要とする年齢に達している子供たちに私がしてやれることは何か？ と考えた時に、ホストファミリーのことが頭に浮んだのだ。

最愛の人を失った子供たちに、せめて“世界中にたくさんの友達を作ってあげたい” そう思った。そして私のホストファミリーの仕事の第1号が青年招へい事業のホームステイだった。

受け入れが決まってからは、“どんな人なんだろう？ 言葉は通じるんだろうか？ 食事は大丈夫かな？” とあれこれ心配だった。

そんな時にボランティア通訳の遠藤春子さんを紹

介していただき、私の不安な胸の内を聞いてもらった。遠藤さんに、ホームステイは言葉が通じないのは当たり前、心で会話すれば大丈夫、と言われ、少しホッとした。

そして当日、王さんと合った瞬間、この人だったら大丈夫かも、と予感した。

それから3日間、言葉は相変わらず分からないままだったが、なぜかお互いに何が言いたいのか分かるようになったのである。本当に不思議だ。

たった3日間しか一緒にいなかったのに、お別れする時には、家族のこと、趣味、そしてこれからの交流について会話ができるようになっていた。

今回のホームステイを通じて、交流は言葉だけではなく、互いが相手の立場になって思いやれば、言葉がなくても心が通じ合えるということを実感した。

これからも、世界中の人たちと心の交流を続けていきたいと思っている。

最後に、こんな素晴らしい機会を与えていただけたことを、心より感謝したい。

そして、遠いこの同じ空の下にいる王さんとも永遠に友達でいたい。



# 新中国実務者招へい計画



# 7. 新中国実務者招へい計画

## (1) 事業の概要

### 1) 事業の目的

「新中国実務者招へい計画」は、日本と中国の実務者の交流を通じ、中国の近代化建設を支援するとともに、21世紀に向けて、より良き日中の協力関係を構築するために、相互理解と信頼を培うことを目的とする。

### 2) 実施方法

#### (a) 招へい人数

平成9年度は、100名を同時期に受け入れる。

#### (b) 招へい対象者

以下の分野の指導的立場にある20～35歳の青年。

##### (i) 産業基盤整備 25名

地方政府関係者、地方の環境対策関係者等。

##### (ii) 経済開発 25名

経済関係者、貿易実務関係者等。

##### (iii) 地域振興 25名

省・自治区政府の農業関係者、地方政府の地域開発関係者（インフラ整備または経済・貿易関係者）、郷鎮企業関係者等。

##### (iv) 人材育成 25名

文化振興関係者、人材育成関係者等。

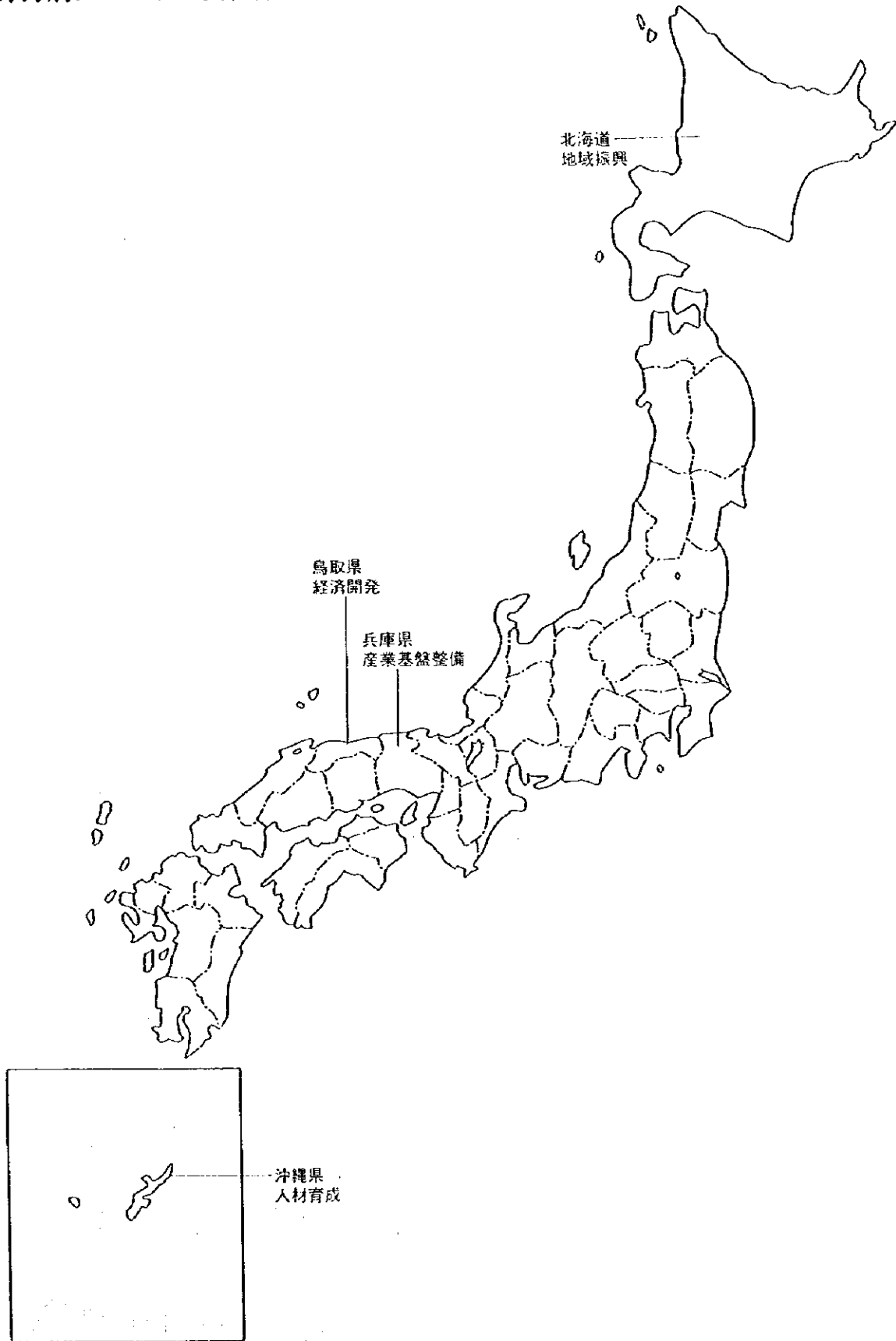
#### (c) 招へい期間

11月19日から12月18日までの1カ月間。





### 分野別プログラム実施都道府県





## 2. 招へい青年の印象

### 友情の旅

高 東旭  
(産業基盤整備グループ)

1カ月の訪日の旅はあっという間に過ぎた。この短い日々の中で、私たちは日本の美しい風景と都市建設、先進的科学技术の発展に感銘を受け、さらに両国の友人たちの誠実な友愛の心に深く感動した。JICA関係者のきめ細かな配慮のもと、私たちは多くの日本の友人と多くの楽しい時間を過ごした。お互いに心を開いて交流し、思う存分歌い、笑ったことを思い出す。このような真情の発露は、時空を超え、両国の政治、文化、観念の違いから解き放たれたものだった。それは一人ひとりが感動し、酔いしれ、永遠に大切にしていけるものだ。今日、両国の友人たちの中日友好の美しい願いを携えて祖国に帰るにあたり、私たちは両国人民の努力のもとで、中日交流事業に、より輝かしい新しい章が開かれるだろうという確信を強く持った。

### 友好の樹よとこしえに

于 徳宝  
(経済開発グループ)

広大な日本海から美しい富士山まで、にぎやかな都会から素朴な村々まで、中国青年は友好の種を播いた。河口湖畔では紅葉が真っ赤に色づき、まるで両国青年の心が躍っているようであった。鳥取の大

山は真っ白な雪をかぶり、ホームステイ宅のご主人たちの温かい真心を表しているようだった。私たちは日本の先進的な科学技术、科学的な管理を目の当たりにした。また、中日の友好交流は歴史が古く、そしてこれからも長く続いていくのだということを感じた。訪れた所にはいずれも青春の息吹が溢れ、両国の青年は共に歴史を逆上り、平和を願い、杯を挙げ歌った。友よ、またもう一度乾杯しよう。私たちは万里の長城に立ち、日本の青年と手を取り合い、21世紀に渡る心の橋を架けよう。友好の樹よとこしえに！

### 理解こそは良き関係の基礎

李 書壘  
(地域振興グループ)

今回の訪問中、私は各分野において一般の日本人と直に話すチャンスに多く恵まれた。この話し合いを通じて、私は日本人と日本文化への理解がより一層深められた。今回、理解した後で理解することの大切さがやっと分かった。理解はまず人と人の意思疎通であり、人類の共通性への目覚めを意味している。理解はまた、双方に相手側の文化の特異性を認識させることもできたと思う。故にこのような理解は、互いの親近感を強め、互いに「人は心を通えば、またその心は理に適う」という思いやりを与え、そしてこれによって培われた個人の友情は、さらに相手民族に対する善意を強めることができた。同時に相互理解は両国関係の危機を防ぐ重要な要素にもなり、相互に、たとえ利害衝突と突発危機に遭ったとしても、英知かつ適切な対応策を取って、「車のながえは南、わだちは北」の真似をして、危機を激化させるようなことは避けることもできると思う。

## 忘れがたき沖縄

趙 彦華  
(人材育成グループ)

沖縄は美しく神秘的で、活気に満ちた島だった。初めてこの島を訪れたにもかかわらず、初めて接するという気がしなかった。それは、中国が琉球の文化に深く影響を及ぼして、両国の交流がずっと昔から途切れることなく続いていたからだろう。2日間のホームステイは時間は短かったけれど、かえって強い友情を結ぶことができた。心温まるもてなしや飾り気のない会話によって、沖縄の人々の心がとてもきれいで広いことを感じた。歓送会でも、那覇の空港でも、流れる涙を止めることができず、歩みもついつい遅くなり、眼前の光景と別れがたく、再び「いちゃりばちよーでー」の意味を強く感じた。たった今別れたばかりだが、もう次にまたみんなで会えることを願ってやまない。中日両国の人々がいつまでも変わる事のない友情を築くことを心から祈っている。沖縄のことはいつまでも忘れがたく、心に残ることだろう。

## 3. 合宿セミナー参加日本青年の声

### 中国青年との合宿

小菅 悦子  
(会社員)

### 合宿セミナーに参加して

浅利 孝幸  
(公務員)

合宿セミナー参加前は、中国に対して様々な誤った先入観をもっていったような気がする。

中国人は日本人に対し、過去の残念な出来事により敵意を持っているのではないか。国の政治姿勢を背景に西洋文化に対し否定的ではないか……。

私にこういう気持ちを抱かせていたのは、中国という国が近くにありながら日本において中国に関する情報が少なく、そういった教育しか受けていなかったからかもしれない。

しかし、セミナーに参加して、彼らは同じアジアの一員である日本に対して友好的かつ親密な考え方を持っていることが分かり、誤った先入観をもっていった自分が恥ずかしくさえ感じた。

こういった機会を通じ、より多くの人々が誤解を取り除くことができればと思う。

私の中国に対する印象は、近年の日本では文化伝承が難しいと感じられるなか、中国には偉大なる文化があり、中国人は文化を重んじるということであり、そういう姿勢に私は好意を抱いていた。今回の合宿セミナーもそんな私の期待を裏切ることなく中国の歌あり踊りあり地方色の強いものまで様々なものがあり、非常に興味深いものであった。討論会の中で中国人側からの意見として「日本人は中国に対し、知らないことが多い」といったことが一度話題に上った。もちろん私たち日本人にはそれは否定できない事実なのかもしれないが、今回の合宿を通し短い期間ではあったが交流を深めるうちに、私たちの今までの中国に対する、多くのメディアからの印象とは違うもっと身近なものを感じられ、私の友達の国・中国についてももっともっと知りたいと思った。3日間という限られた期間ではあったが、ここで得たもの、ここでできた友情関係が未永く続けばよいと思う。

## 真の国際交流とは

吉野 文子  
(公務員)

妹が上海の大学に留学したのをきっかけに、私も中国に対して親近感や関心を持つようになった。そんな折、合宿セミナーの応募要領を目にしたので即座に参加を決意した。当初は大学で3年間勉強した中国語を活かせば何とかかなると思っていたが、いざとなると私の中国語力は頼りなくて、挨拶の言葉さえ浮かばず、妹の力を借りて自己紹介の文章を考えるのが精一杯だった。さて、合宿が始まると、富士山へ向かうバスで隣に座った男性をはじめ、同室になった女性3人も日本語が全く分からなかったのでピンチ。『中国語がダメなら英語があるぞ!』と思ったが、実際にはそれも役立たず、情けない限りだった。しかし相手の立場に立って理解しようと努めれば、言葉は通じなくても心が通い合えるという実感をつかむことができた。国際交流の原点は、相手(相手国)の立場に立って物事を考えることだと悟った3日間だった。

## 4. ホストファミリーの思い出

### イチャリバ チョーデー 出会えば兄弟も同然だ

大濱 洋子  
(沖縄県)

娘「ママ、中国語話せるの？」

私「ううん、話せない！」

息子「中国の人たちが日本語話せるんだね」

私「多分話せないと思うよ」

娘「えーっ、じゃ、どうやってお話しするの？」

私「……心で!!」

新しい家族を迎える喜びと期待と少しの不安を親子で共有しながら、歓迎レセプションへ向かう車中の会話である。

程さんと起さんを紹介され、握手を交わした途端、数分前まであった不安は、すっかり、消えていた。中国の2人の妹を迎えた2泊3日、赤い交流手帳と

辞書と雑記帳を片手に、身ぶり手ぶりで語り合い、歌い踊り、笑いころげ、そして涙ぐむことさえできた。

子供たちは日本語で話しかけ、彼女たちは中国語で答え、一緒に風呂に入り一緒に寝た。

息子はプリクラを撮ろうと2人を誘い、娘は覚えてたての手話ソング「友だちになるために」を教えた。

お別れパーティーの余韻の中で、「ママ、『どこのどんな人ともきつと分かり合えるさ(手話ソングの一節)』って本当だね」とつぶやく娘を思わず抱きしめていた。

あれから……、新聞やテレビで「中国」という言葉を見聞きするたびに、身を乗り出す私たち家族がいる。

今回、ホストファミリーを引き受けたことで、たくさんのお礼の言葉や、感謝状、素敵な記念のアルバムまでいただいた。そのうえ、目に見えない、言葉では言い表せない、貴重なものを私たち家族の心の中に残してくださった。中国の皆様と沖縄県青少年育成県民会議のスタッフの皆様には感謝したい。謝々





# 実績資料

# 1. 実績一覧

## (1) 「新日中青年の友情計画」実績一覧

### ●平成5年度 (98名)

	人数	実施協力団体	実施 都道府県	JICA支部等	地方協力団体
青年指導者	25	日本ユネスコ協会連盟	新潟	関東	新潟ユネスコ協会
経済青年	24	日本経済青年協議会	鹿児島	九州	鹿児島県国際交流協会
公務員	25	国際交流サービス協会	三重	東海	三重県連合青年団
教員	24	青年海外協力協会	岡山	中国	津山とアジアを結ぶ会

### ●平成6年度 (100名)

	人数	実施協力団体	実施 都道府県	JICA支部等	地方協力団体
青年指導者	25	青少年育成国民会議	岩手	東北	岩手県国際交流協会
勤労青年	25	日本経済青年協議会	鹿児島	九州	鹿児島県国際交流協会
公務員	25	日本ユースホステル協会	宮城	東北	宮城県ユースホステル協会
教員	25	青年海外協力協会	石川	北陸	石川県国際交流協会

### ●平成7年度 (98名)

	人数	実施協力団体	実施 都道府県	JICA支部等	地方協力団体
青年指導者	25	日本青年団協議会	岡山	中国	岡山県青年館
勤労青年	25	日本経済青年協議会	三重	東海	三重県連合青年団
公務員	23	国際交流サービス協会	長崎	九州	長崎県国際交流協会
教員	25	日本ユネスコ協会連盟	福島	東北	福島ユネスコ協会

### ●平成8年度 (100名)

	人数	実施協力団体	実施 都道府県	JICA支部等	地方協力団体
青年指導者	25	日本ユースホステル協会	宮城	東北	宮城県ユースホステル協会
経済青年	25	日本経済青年協議会	長崎	九州	長崎県世界青年友の会
公務員	25	ユースワーカー能力開発協会	福井	北陸	武生市国際交流協会
教員	25	日本国際協力センター	兵庫	関西	兵庫県青少年本部

### ●平成9年度 (100名)

分野名	人数	実施協力団体	実施 都道府県	JICA支部等	地方協力団体
青年指導者	25	日本ユースホステル協会	宮城	東北	宮城県ユースホステル協会
経済青年	25	日本経済青年協議会	徳島	四国	徳島県日中青年交流協会
公務員	25	ユースワーカー能力開発協会	岩手	東北	岩手県国際交流協会
教員	25	国際交流サービス協会	栃木	関東	栃木県青年会館

\* 共通・評価プログラムについては、日本国際協力センターが全グループに対して実施した。

## (2)「新中国実務者招へい計画」実績一覧

## ●平成5年度(99名)

	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
産業基盤整備実務者	25	日本国際協力センター	福井	北陸	福井県国際交流協会
経済開発実務者	25	ユースワーカー能力開発協会	山梨	関東	青少年育成山梨県民会議
地域振興実務者	24	青少年育成国民会議	沖縄	沖縄	沖縄県青少年育成県民会議
文化・教育実務者	25	世界青少年交流協会	香川	四国	香川県海外派遣友の会

## ●平成6年度(100名)

	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
産業基盤整備実務者	25	日本国際協力センター	北海道	北海道	苫小牧国際交流センター
経済開発実務者	25	国際交流サービス協会	長崎	九州	長崎県世界青年友の会
内陸地域振興者	25	日本友愛青年協会	鳥根	中国	友愛青年連盟鳥根県支部連合会
文化・人材育成	25	世界青少年交流協会	岐阜	東海	大垣国際交流協会

## ●平成7年度(99名)

	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
産業基盤整備	25	日本ユースホステル協会	鳥取	中国	とっとり青友会
経済開発	24	勤労厚生協会	愛媛	四国	愛媛県国際交流協会
地域振興	25	世界青少年交流協会	香川	四国	香川県海外派遣友の会
人材育成	25	青少年育成国民会議	沖縄	沖縄	沖縄県青少年育成県民会議

## ●平成8年度(100名)

	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
産業基盤整備	25	世界青少年交流協会	山口	中国	世界青年徳山友の会
経済開発	25	勤労厚生協会	栃木	関東	栃木県外国青年招へい事業実行委員会
地域振興	25	日本国際協力センター	鳥取	中国	とっとり青友会
人材育成	25	青年海外協力協会	沖縄	沖縄	沖縄県青少年育成県民会議

## ●平成9年度(100名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
産業基盤整備	25	世界青少年交流協会	兵庫	大阪国際センター	兵庫県青少年本部
経済開発	25	勤労厚生協会	鳥取	中国	とっとり青友会
地域振興	25	青年海外協力協会	北海道	北海道	十勝インターナショナル協会
人材育成	25	ユースワーカー能力開発協会	沖縄	沖縄	沖縄県青少年育成県民会議

\*共通・評価プログラムについては、日本国際協力センターが全グループに対して実施した。

## 2. 平成9年度青年招へい実績一覧

受入時期 陣・人数	国名	分野	人数	実施協力団体	実施県	地方団体
5月15日 ～ 6月13日 1陣 116人	インドネシア	社会開発	25	日本ユースホステル協会	大分	大分県海外協会
	インドネシア	経済A	20	日本経済青年協議会	福井	福井県国際交流協会
	インドネシア	経済B	24	勤労厚生協会	群馬	アセアン青年招へい事業実行委員会
	フィリピン	教育	22	青少年育成国民会議	山梨	青少年育成山梨県民会議
5月21日 ～ 6月19日 2陣 117人	フィリピン	社会開発	25	国際交流サービス協会	富山	船とやま国際センター
	シンガポール	教育	21	世界青少年交流協会	石川	小松市国際交流協会
	シンガポール	社会開発	25	勤労厚生協会	大阪	大阪市青少年国際交流協議会
	シンガポール	経済B	24	日本国際協力センター	大阪	日本国際協力センター大阪支所
6月4日 ～ 7月3日 3陣 100人	タイ	教育	22	青年海外協力協会	京都	青年海外協力協会近畿支部
	タイ	社会開発	25	日本友愛青年協会	石川	石川県国際交流協会
	マレーシア	公務員	25	公務研修協議会	北海道	北海道YMCA
	マレーシア	経済	25	国際交流サービス協会	大阪	太平洋人材交流センター
6月19日 ～ 7月18日 4陣 94人	マレーシア	経済経営	25	青少年育成国民会議	福島	福島県青年海外派遣友の会
	マレーシア	中小企業	25	日本ユースホステル協会	石川	石川県ユースホステル協会
	シンガポール	経済A1	20	ユースワーカー能力開発協会	広島	しょうばら国際交流協会
	シンガポール	経済A2	24	日本経済青年協議会	京都	京都ユースホステル協会
6月26日 ～ 7月25日 5陣 88人	カンボディア	教育	30	青少年育成国民会議	沖縄	沖縄県国際交流財団
	ラオス	農林漁業	20	高知県国際交流協会	高知	高知県国際交流協会
	太平洋混成	公務員	23	国際交流サービス協会	埼玉	上尾市国際交流協会
	太平洋混成	教員	24	日本国際生活体験協会	三重	三重県国際交流財団
7月2日 ～ 7月31日 6陣 97人	パプアニューギニア	公務員	10	世界青少年交流協会	富山	富山県世界青年友の会
	パプアニューギニア	教員	19	青年海外協力協会	北海道	帯広青年会議所
	フィジー	公務員	12	日本国際協力センター	静岡	静岡県国際交流協会
	韓国	前職(公務員)	25	日本ユースホステル協会	長崎	長崎県ユースホステル協会
8月20日 ～ 9月18日 7陣 117人	韓国	前職(公務員)	24	勤労厚生協会	北海道	滝川国際交流協会
	韓国	教員(小学校)	23	世界青少年交流協会	茨城	茨城県外国青年招へい事業実行委員会
	韓国	学生(文芸系)	25	青年海外協力協会	熊本	熊本県青年海外協力協会
	フィリピン	教育	25	ユースワーカー能力開発協会	宮崎	ユースワーカー能力開発協会宮崎支部
8月28日 ～ 9月26日 8陣 90人	フィリピン	農業	24	青年海外協力協会	徳島	徳島県青年海外協力協会
	フィリピン	経済A	20	日本国際協力センター	鹿児島	鹿児島県国際交流協会
	フィリピン	経済B	24	日本経済青年協議会	香川	香川県国際交流協会
	フィリピン	農業	24	秋田県国際交流協会	秋田・青森	青森県青年海外協力協会
8月28日 ～ 9月26日 8陣 90人	バングラデシュ	保健医療	19	国際看護交流協会	山梨	国際看護交流協会
	ブータン、モルディブ	教育	10	青少年育成国民会議	島根	島根県国際交流青年会
	インド	看護(看護士)	24	世界青少年交流協会	岐阜	岐阜県世界青年友の会
	ネパール	看護(看護士)	7	世界青少年交流協会	長野	駒ヶ根青年会議所
8月28日 ～ 9月26日 8陣 90人	スリ・ランカ	教育	10	日本ユネスコ協会連盟	佐賀	佐賀ユネスコ協会
	パキスタン	公務員(学生会)	20	日本国際協力センター	新潟	新潟県国際交流協会

受入時期 陣・人数	国名	分野	人数	実施協力団体	実施県	地方団体
9月10日 10月9日 9陣 114人	タイ	農業	25	青年海外協力協会	静岡	沼田国際交流協会
	タイ	経済A	20	日本ユースホステル協会	愛媛	愛媛県国際交流協会
	タイ	経済B	24	勤労厚生協会	愛知	ジャパンヤングサークル東海支部
	ブルネイ	社会開発	15	日本国際協力センター	北海道	千歳国際交流協会
	ミャンマー	教育	20	世界青少年交流協会	群馬	群馬県国際交流協会
	モンゴル	勤労青年	10	国際交流サービス協会	和歌山	和歌山県青少年育成協会
9月18日 10月17日 10陣 113人	マレーシア	農業開発	16	日本青年団協議会	岡山	岡山県青年館
	マレーシア	教育	25	日本国際生活体験協会	北海道	とまこまい国際交流センター
	マレーシア	科学技術開発	25	豊川市国際交流協会	愛知	豊川市国際交流協会
	インドネシア	農業	25	世界青少年交流協会	香川	香川県海外派遣友の会
	インドネシア	教育	22	青年海外協力協会	山形	山形県青年海外協力協会
10月8日 11月6日 11陣 100人	中国	青年指導者	25	日本ユースホステル協会	宮城	宮城県ユースホステル協会
	中国	経済青年	25	日本経済青年協議会	徳島	徳島県日中青年交流協会
	中国	公務員	25	ユースワーカー能力開発協会	岩手	岩手県国際交流協会
	中国	教員	25	国際交流サービス協会	栃木	栃木県青年会館
10月16日 11月14日 12陣 95人	アフリカ英語圏	女性教員1	26	大阪府国際交流財団	大阪	大阪府国際交流財団
	アフリカ仏語圏	女性教員2	20	青年海外協力協会	岡山	津山と世界を結ぶ会
	アフリカ英語圏	経済公務員1	23	青少年育成国民会議	愛媛	愛媛県青年海外協力協会
	アフリカ仏語圏	経済公務員2	26	世界青少年交流協会	山口	世界青年徳山友の会
10月22日 11月20日 13陣 89人	ASEAN混成	教育1	18	愛知県国際交流協会	愛知	愛知県国際交流協会
	ASEAN混成	教育2	18	日本国際生活体験協会	北海道	札幌国際プラザ
	ASEAN混成	経済1	18	国際交流サービス協会	千葉	千葉県国際交流協会
	ASEAN混成	経済2	18	青少年育成国民会議	福岡	九州・山口経済連合会
	ASEAN混成	経済3	17	勤労厚生協会	岡山	岡山青年国際交流会
11月5日 12月4日 14陣 113人	ASEAN混成	環境保全	30	日本経済青年協議会	北海道	釧路市海外青年招へい事業実行委員会
	ASEAN混成	社会福祉	30	日本ユースホステル協会	広島	広島県青少年文化センター
	ASEAN混成	保健医療	29	国際看護交流協会	長野	国際看護交流協会
	ASEAN混成	行政A	24	公務研修協議会	福岡	福岡県海外青年招へい事業実行委員会
11月19日 12月18日 15陣 100人	中国	産業基盤整備	25	世界青少年交流協会	兵庫	兵庫県青少年本部
	中国	経済開発	25	勤労厚生協会	鳥取	とっとり青友会
	中国	地域振興	25	青年海外協力協会	北海道	十勝インターナショナル協会
	中国	人材育成	25	ユースワーカー能力開発協会	沖縄	沖縄県青少年育成県民会議
1月21日 2月19日 16陣 50人	中南米混成	社会福祉1	25	青少年育成国民会議	沖縄	沖縄県国際交流財団
	中南米混成	社会福祉2	25	日本国際協力センター	沖縄	沖縄県国際交流財団
合計	72グループ 1,593名	ASEAN6カ国(791) ミャンマー(20) 太平洋14カ国・地域(88) 中国(200) 韓国(97) 南西アジア7カ国(90) モンゴル(10) アフリカ39カ国・1国際機関(95) インドシナ3カ国(149) 中南米11カ国(50) 計84カ国・地域、1国際機関				



# 青年邀请计划





## 前 言

“青年邀请计划”是国际协力事业团(JICA)对发展中国家所实施的技术合作的内容之一。从亚太及非洲中南美各国邀请承担将来国家建设的青年来我国，并根据各专业进行为期一个月的访问活动。其目的在于学习各领域的实际情况的同时，通过与民宿家庭等的广泛交流加深相互理解，培育信赖关系与友谊。

被邀请的国家也从当初的东盟六国扩大到了现在的太平洋各国及地区、缅甸、中国、韩国、东南亚各国、蒙古、非洲各国、包括柬埔寨、老挝、越南的印支三国以及中南美各国。

一九九七年这一年中，接待了一千五百九十三名青年来访的计划。自一九八四年至一九九七年的十四年中，应邀访问日本的亚太及非洲中南美各国青年已达一万六千六百二名之多。这与有关方面各位的大力协助和热情支持是分不开的。在此，我谨向各位表示由衷的谢意。

本报告书以访日青年、参加合宿研讨会的日本青年以及全国各地的民宿接待家庭的各位的感想为主，综合记录了访日青年们的为期一个月的活动内容。如本报告书能为本事业的进一步发展起到借鉴作用，并为各位留下一个美好的回忆，我将感到不胜荣幸。

本报告书将要寄给本年度所有应邀来访的青年和各国的有关各位留念。

最后，我再次向寄来热情洋溢的感想和宝贵意见的各位及其他有关各位表示深挚的谢意，为使“青年邀请计划”的交流内容更加富有意义，今后还望各位予以大力支持与合作。

国际协力事业团  
研修事业部  
部长 森本 胜  
一九九八年三月



# 目 录

## 前 言

### 一、新中日青年友谊计划

1. 计划概要 .....	47
2. 计划实施情况 .....	48
二、邀请青年的感想 .....	51
三、参加合宿研讨会的日本青年的感想 .....	53
四、民宿主人的感想 .....	55

### 二、新中国基层工作人员邀请计划

1. 计划概要 .....	59
2. 计划实施情况 .....	60
二、邀请青年的感想 .....	63
三、参加合宿研讨会的日本青年的感想 .....	65
四、民宿主人的感想 .....	67

### 实施情况等资料

1. 迄今为止实施的青年邀请计划一览表	
(1)新中日青年友谊计划 .....	70
(2)新中国基层工作人员邀请计划 .....	71
2. 1997年度青年邀请计划实施情况一览表 .....	72



# 新中日青年友谊计划



# 一、新中日青年友谊计划

## 1. 计划概要

### 1) 目的

“新中日青年友谊计划”的目的是，为了面向21世纪，中日两国分享更好的未来、和平和繁荣，通过日本与中国青年的交流，增进相互之间的理解和信赖。

### 2) 实施方法

#### A 邀请人数

1997年度一次邀请100名青年

#### B 邀请对象

在以下各领域里从事领导工作的20~35岁的青年

##### (I) 青年工作者 25名

青少年活动有关工作人员、体育·文化·社会服务等团体有关工作人员

##### (II) 经济 25名

企业等的工作人员、公务员、新闻工作人员

##### (III) 公务员 25名

除了其它三个分团领域以外的一般公务员

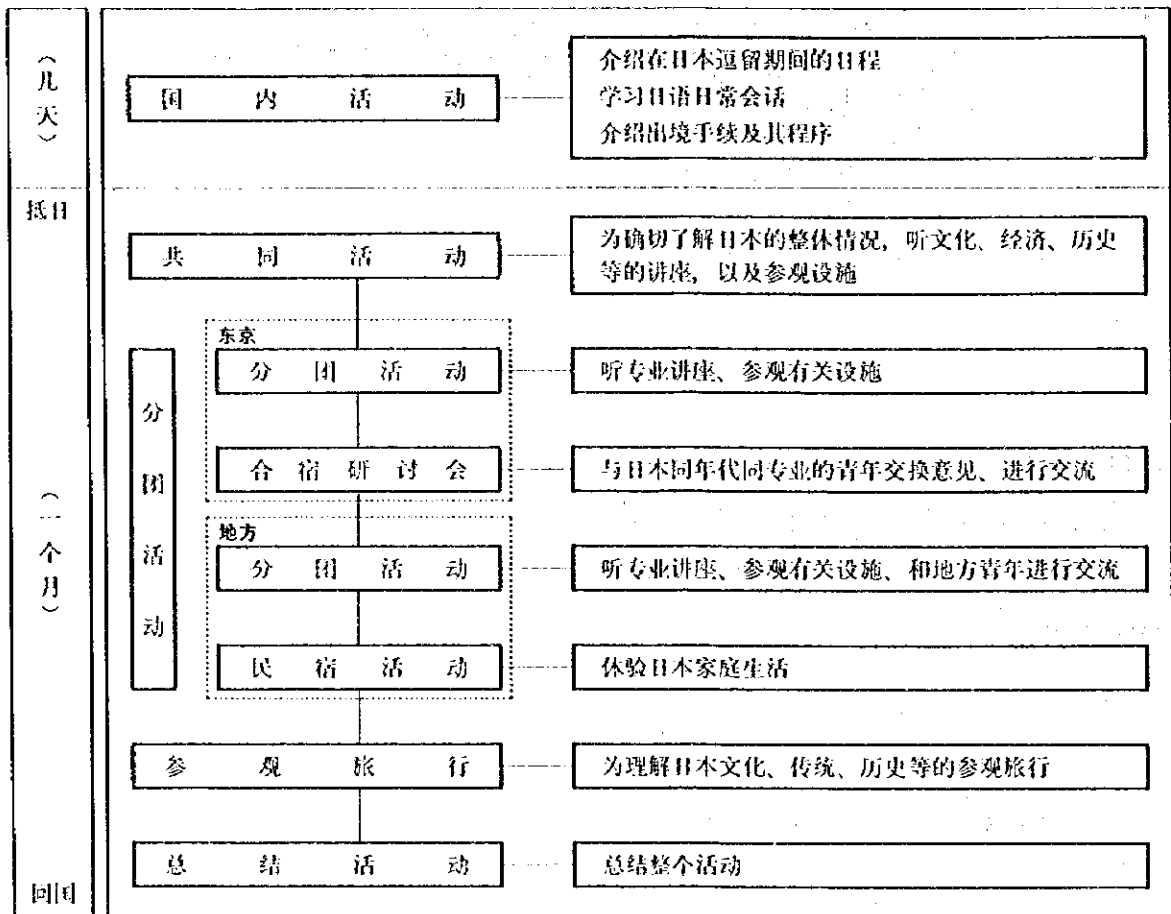
##### (IV) 教员 25名

教育机关的教员、教育有关的公务员

#### C 邀请日期

10月8日~11月6日 一个月

### 3) 日程概要



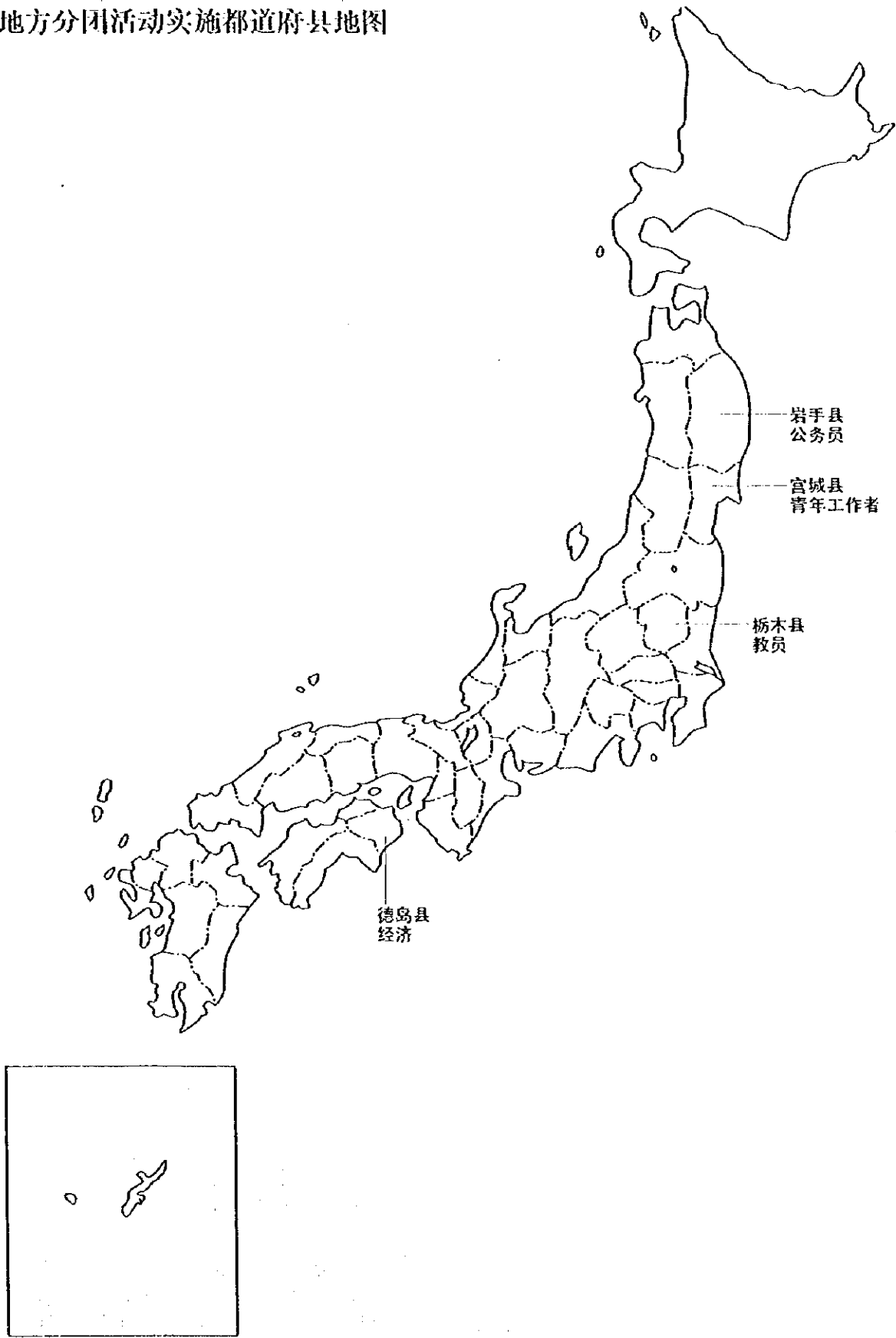
## 2. 计划实施情况

分团	人数	实施协助团体	实施都道府县
青年工作者	25	日本青年旅舍协会	宫城
经济	25	日本经济青年协议会	德岛
公务员	25	青年工作者能力开发协会	岩手
教员	25	国际交流服务协会	栃木

\* 在共同活动部分，由日本国际协力中心来为全分团实施了日程。



### 地方分团活动实施都道府县地图





## 二. 邀请青年的感想

### 举轻若重是敬业精神的重要体现

范继英  
(青年工作者分团)

敬业精神是日本经济快速、协调发展的重要驱动力，而举轻若重则是日本人敬业精神的重要体现，这是我本次日本之行丰富内心感受之中最为深刻的一点。工作质量的高低往往取决于每件细小工作的组合，每件细小工作的成功和完美，才能构成整体工作的高质量。因此，对待每件细小工作的态度最能折射出一个人的敬业精神。在日本正是因为每个人对待小事情都能够追求完美、用心去做，才形成了全社会的敬业精神。我们这一代青年人应该学习日本人举轻若重的敬业精神。

### 硕果累累

毛晓峰  
(经济分团)

此次研修活动，在日方接待单位和有关实施团体的精心安排下，内容丰富、形式多样、时间紧凑。大家能够在较短时间对日本社会的各方面有了较为全面的了解，对中日两国人民之间的纯真友谊有了深刻的体会，特别是对日本目前经济结构、状况及在过去发展过程中的经验与教训有了实际的认识，它必将对加深中日两国的交流与合作，加深中日两国人民之间的友谊产生积极的影响，也会对每位团员今后的工作起到良好的促进作用。

### 超越时空的一个月

张 苹  
(公务员分团)

按新中日青年友情计划，我们公务员分团一行25人在日本度过了难忘的一个月。东京的挤、岩手的亲、京都的美、大阪的俏、广岛的魂……都永远地留在了我们的记忆中。

我们这25人来自中国的16个省市，大家普遍认为，国际协力事业团、青年工作者能力开发协会以及岩手县国际交流协会安排的行程很丰富，使我们看到了普通的日本人如何工作和生活，看到了日本作为一个开放社会的良好发展前景。

我们过得很充实，研修和交流都取得了丰硕成果。尤其是民宿和合宿活动期间，与很多的日本朋友广泛接触，建立了深厚感情。民宿家庭的五岁小姑娘山田里士叫我“中国妈妈”，并说长大了要去中国。在这超越时空的一个月里，我们进一步了解了日本，并且喜欢上了日本。

### 访问日本的一点感想

陈立中  
(教员分团)

在日本考察、研修一个月，通过讲座、参观、交流、民宿和观光等活动，对日本社会尤其是教育有了一定的了解。教育的完备法律和要领、体制的合理构建和安排、目标的明确具体和实在、设施的配套齐全和社会化，都给我们予启迪，体会到日本教育为本国社会经济发展和民族道德水平提高发挥着巨大作用。同时，处处感受到有关团体和人士特别是民宿家庭、

协调员的友好之情及周到款待，他们的敬业精神、团队意识和完美态度，很值得我们借鉴。

## 三. 参加合宿研讨会的日本青年的感想

### 让我们用汉字和笑颜起舞

齋藤佳子  
(教师)

一个晴朗澄碧的日子，我们在松岛美丽的海滩度过了有意义的时光。

我虽然不懂中文，但却十分渴望进行交流，便始终随身带着笔和笔记本，向笔谈进行了挑战。中国朋友耐性极好，一直微笑着揣摩我想表达的意思。当我们互相理解了对方的意思时，感到特别高兴，亲身体会到我们具有共通的文化。

跳交谊舞时，在绅士般风度翩翩的中国朋友的带领下，我居然能跳起了事先进修时特训中没有练习过的华尔兹舞。我的心兴奋得砰砰地跳动。

丝毫不懂中文的我也能度过这样美好欢乐的时光，连自己也觉得惊奇。真所谓人间情常在，世人皆兄弟。谢谢给了我这样一个宝贵的机会。

### 欢歌劲舞日中交流

吉田祥子  
(公司职员)

我参加了这次合宿研讨会，从中学到了很多东西。在分组讨论会上，了解到中国青年们对自己的祖国充满着自豪，并十分重视文化和历史，特别是家庭。听到在中国，无论是在工作中，还是在家庭中，都是男女平等，我感到非常羡慕。深感同为东洋人，价值观却是如此的不同。

在交流会上，中国的青年们都参加进日本青年们的阿波舞中，大家一起跳啊跳，度过了欢乐的时光。虽然文化和价值观相异，但以酒和歌舞为媒介，大家心心相通，意气投合。

对我这个每天埋头工作，视野日渐狭小的人来说，真是一次绝佳的体验。衷心感谢一起参加的朋友们。

### 被许多中国“丈夫”围着

向井纪子  
(公司职员)

交流会结束时，与中国青年们欢乐地团坐成一圈，大家按中国传统的结婚时的干杯方式进行干杯。干杯方式是，新郎新娘各持酒杯，手臂相交，一饮而尽。不擅长喝酒的我，受中方指名，喝干了酒。我的脸一下子就红了起来，平时就是因为一喝酒就脸红让人难为情，才不怎么饮酒。中国青年把我脸色的变化比喻为“人面桃花”，用刚学会的日语连声说：“真漂亮，真漂亮”。我也就益发干劲地和一位又一位的中国青年干了结婚酒。几杯干下来，头晕呼呼的，连我的新郎们是谁也记不起来了，不过青年们对我许的“给你介绍一位优秀的中国男性”的愿，我是不会忘记的。但我练习的干杯，能派上用场的一天真的会来吗？

### 相见何必曾相识

中村千春  
(大学生)

多么富于人情味的人们啊！正直坦率。来自中国的朋友们给我留下了纯真无邪奋发向上的深刻印象。虚度年华之语与他们是无缘的。

这次遇见的只不过是中国的极少极少的一小部分人，在幅员辽阔的中国，还有许许多多的中国人。也许今后我会遇到某些中国人，使我对在这次合宿研讨会形成的“美好的中国人”之观点产生疑问，但我会认为大千世界，形形色色的人都有，良莠不齐，不足为奇。我想正是这次相逢才使我变得这样心胸宽畅。衷心地感谢各位有关人士给我们提供了这样宝贵的相见机会，与中国青年们的相会将是我心中珍藏一生的宝贝。

## 四. 民宿主人的感想

### 心的交流

真下辉子  
(岩手县)

先请听我说说我自己的事。我接受外国人来家小住的契机，是去年的圣诞之夜，我的丈夫病亡。

对于正处于最需要父爱的年龄的孩子们，我能做些什么呢？这时，接受外国人来家小住的念头在我的脑海里浮现。

我想至少应该让失去了最亲爱的父亲的孩子们在世界中多交一些朋友。我招待的第一位外国人，便是中国青年。

招待中国青年之事决定后，想着“是位怎样的人

呢？语言通不通呢？饮食是否习惯？”等，心里忐忑不安。这时，为我介绍了志愿翻译远藤春子，远藤春子倾听了我心中的不安，对我说，语言不通是很自然的，只要用心来交流是会心心相通的，这才使我略微放了心。

那天与小王一见面，直觉便告诉我与这个人相处没问题。

此后的三天虽然语言依然不通，但不知为什么非常理解对方想表达的意思，真是不可思议，虽说只在一起生活了短短的三天，但分别的时候，我们已能就家庭、兴趣爱好以及今后的交流等进行交谈。

通过这次招待外国人，使我亲身体会到只要双方站在对方的立场上，不用语言也能达到心领神会。今后我将继续与世界各国的朋友进行心的交流。

最后衷心感谢能够给我这样一个美好的机会。

遥远的同一蓝天下的小王，让我们成为永远的朋友吧。





# 新中国基层工作人员邀请计划



# 一、新中国基层工作人员邀请计划

## 1. 计划概要

### 1) 目的

“新中国基层工作人员邀请计划”的目的是，通过日本与中国基层工作人员的交流，支援中国现代化建设的同时，为了面向21世纪确立更加美好的中日合作关系，增进相互之间的理解和信赖。

### 2) 实施方法

#### A 邀请人数

1997年度一次邀请100名青年

#### B 邀请对象

在以下各领域里从事领导工作的20~35岁的青年

##### (I) 产业基础设施建设 25名

地方政府有关工作人员、地方环保对策有关工作人员等

##### (II) 经济开发 25名

经济有关工作人员、贸易实际业务有关工作人员等

##### (III) 地区振兴 25名

省·自治区政府的农业有关工作人员、地方政府的地区开发有关工作人员（社会基础设施建设或经济·贸易有关工作人员）、乡镇企业有关工作人员等

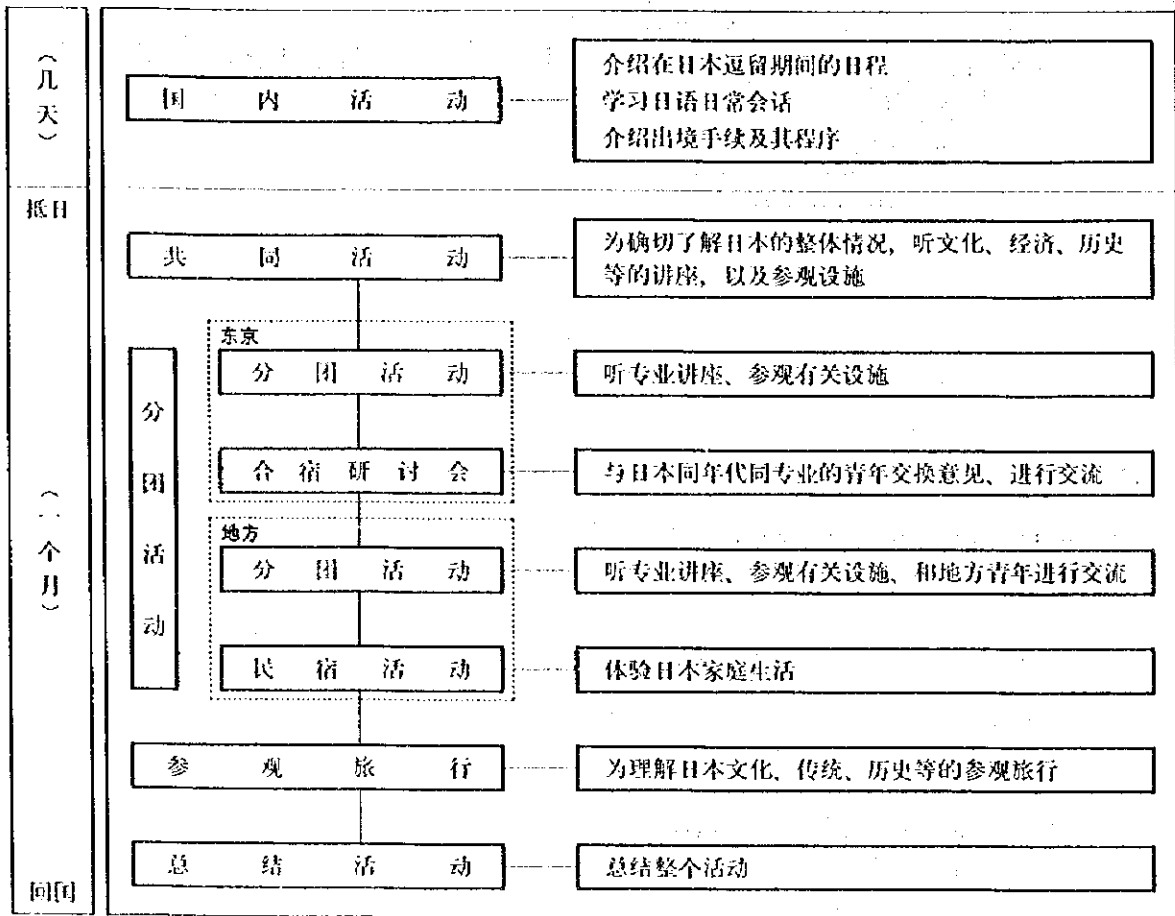
##### (IV) 人材培养 25名

振兴文化有关工作人员、人材培养有关工作人员等

#### C 邀请日期

11月19日~12月18日 一个月

### 3) 日程概要

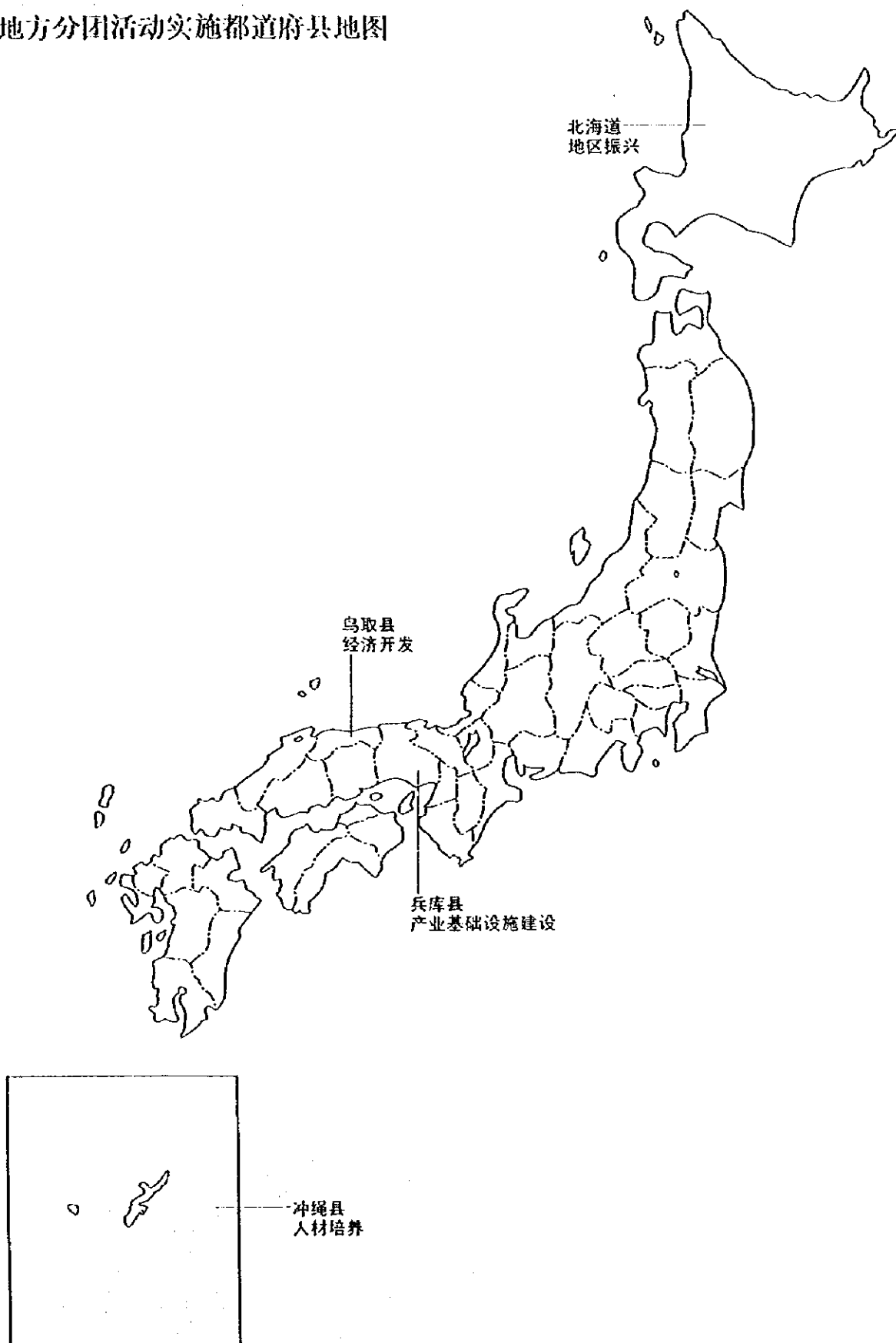


## 2. 计划实施情况

分团	人数	实施协助团体	实施都道府县
产业基础设施建设	25	世界青少年交流协会	兵庫
经济开发	25	勤劳厚生协会	鸟取
地区振兴	25	青年海外协力协会	北海道
人材培养	25	青年工作者能力开发协会	冲绳

\* 在共同活动部分, 由日本国际协力中心来为全分团实施了日程。

### 地方分团活动实施都道府县地图





## 二. 邀请青年的感想

### 友情之旅

高东旭  
(产业基础设施建设分团)

一个月的访日之行已匆匆而过，在这短暂的日子里，我们对日本美丽的风光和城市建设以及先进发达的科学技术留下深刻印象外，更多地感受是两国朋友间真挚的友爱之情。一路上，在JICA朋友们的精心组织下，我们与那么多的日本友人度过了许多快乐的时光。回想起相聚时相互间坦诚的交流、纵情的高歌、开杯的欢笑声，那种发乎于心的真情流露，已克服了时空的限制，更突破了两国政治、文化、观念差异的束缚。它为每一个人所感动、沉醉，更将为每个人永久地珍视。今天，当我们满载着两国友人对中日世代友好的美好祝愿回到自己的祖国，我们更加坚信，中日友好事业必将在两国人民的共同努力下，谱写出更加辉煌的新篇章。

### 友谊之树常青

于德宝  
(经济开发分团)

从浩瀚的日本海到美丽的富士山，从繁华的都市到质朴的乡村，中国青年播下了友谊的种子。河口湖畔，枫叶正红，仿佛是两国青年的心在跳动；鸟取大山，白雪皑皑，代表着民宿房东的真情厚意。我们目睹了日本的先进科技、科学管理，也感受到了中日友好交流源远流长。所到之处，洋溢着青春气息，两国

青年共同追溯历史、祈愿和平、举杯欢唱。朋友，下次相聚再干杯！我们站在长城上，与日本青年携起手，架设通向二十一世纪的心灵之桥。友谊之树常青！

### 了解是良好关系的基础

李书磊  
(地域振兴分团)

这次访问中我与日本各行各业的普通居民有了许多面对面的接触，通过接触我对日本的人民和文化有了更深入的了解。了解之后才知道了解的可贵。了解首先意味着人与人之间的沟通，意味着对人类共同性的觉悟，同时了解也使双方认识到了对方文化的特异性。因而这种了解一方面增加了相互的亲近感，相互有了一种“人同此心、心同此理”的同情，个人之间的友情增加了对对方民族的善意；另一方面了解也将成为防御两国间关系危机的重要因素，相互了解可以使双方在遇到利益冲突和突发危机时采取明智而妥善的处理办法，避免做出南辕北辙、加剧危机的蠢事。

### 难忘冲绳

赵彦华  
(人材培养分团)

冲绳是一个美丽、温馨、带有神秘色彩而又充满生机和活力的小岛。初次踏上这片土地，但对这里的一切却并不感到陌生，因为中国对琉球文化影响深远，中日两国的友好交流渊源流长。两天的民宿体验虽然短暂，但由此而结下的友谊却长绵不断。热情的款待、真诚地交谈，使我们感到冲绳人民的心象花一样芳香四溢；冲绳人民的胸怀象大海一样宽广。在告别晚会

上，在那霸飞机场，止不住的泪水，放慢的脚步，恋恋不舍的目光，再次使我们感到“相见就是兄弟”。这次匆匆分别，又期盼下次的团聚。衷心地祝愿中日两国人民的友谊之树万古长青。冲绳难忘，难忘冲绳。



## 三. 参加合宿研讨会的日本青年的感想

### 参加合宿研讨会

浅利孝幸  
(公务员)

参加合宿研讨会前，我似乎对中国怀有许多不正确的先入之见。

由于历史上那段令人遗憾的往事，中国人对日本人是否存有敌意，在中国的政治背景下，中国人对西洋文化是否持否定态度等等……。

我之所以会有这样的先入之见，或许是因为中国虽然离日本很近，但在日本，有关中国的信息很少，而且我也只接受了这样的教育。

研讨会的几天中，他们对亚洲的一个成员——日本友好且亲密，相形见绌，我对自己抱有的先入之见感到羞愧。

我想如果能够通过这样的机会，让更多的人消除误解，那该多好啊。

### 与中国青年的合宿

小菅悦子  
(公司职员)

要说我对中国的印象，在我感到日本近年来文化难以世代相传的现状中，对中国拥有伟大的文化，中国人重视文化的态度持有好感。这次合宿研讨会没有辜负我的期待，有中国的歌舞和各种各样地方特色浓厚的事物，使我深感兴趣。一次在研讨会上中国方面提出的“日本人对中国知之甚少”的意见成为讨论的

话题。当然这或许是我们日本人无可否认的事实，但是，通过这次合宿，时间虽短，但在不断加深的交流中获得了与我们至今为止从媒介宣传中接受的对中国的印象不同，有了更具体的切身体会，使我想对我朋友的祖国——中国有更多更深的了解。三天的时间虽然短暂，但愿三天中所获得的和结成的友情能地久天长。

### 何为真正的国际交流

吉野文子  
(公务员)

由于妹妹在上海的大学毕业留过学，我也因此对中国变得亲近和关心。因此当我看到合宿研讨会的报名表时，立即决定参加了。我想只要把以前读大学时学过三年的中文好好发挥一下，交流大概不成问题，然而一旦动真格时，我的中文却显得贫乏无力，连寒暄问候的词汇都想不起来了，借着妹妹的一臂之力，只一篇自我介绍的文章，我便江郎才尽了。合宿开始了，在去富士山的车上，邻座的男士和与我同宿舍的三位女士也都不懂日文，怎么办，我想中文不行还有英文，然而实际上英文也行不通，真是太惨了。虽然语言不通，但是，大家互相站在对方的立场上，努力理解对方，体验到了语言不通，心灵相通的实际感受。这三天使我明白了站在对方（对方国家）的立场上考虑问题是国际交流的出发点。



## 四. 民宿主人的感想

### “伊恰里巴 巧德” ～“相见就是兄弟”～

大滨洋子  
(冲绳县)

女儿“妈妈，你会说中文吗？”

我“不，我不会说！”

儿子“中国朋友们会说日文，是吗？”

我“我估计她们也不会说。”

女儿“哎呀，那么怎么谈话呢？”

我“…用心灵!!”

我和小孩们共有迎接新的家属的喜悦、期待以及小小的不安之心情，在前往欢迎会的车上聊一聊。但是，协助团体的负责人给我们介绍了程小姐和赵小姐，我

们和她们一握手就完全消失了几分钟前所有的不安。

我们在迎接两位中国妹妹度过的三天两夜之间，一只手总拿着红皮交流手册、辞典或者笔记本，指示回脚地示意进行交谈，唱歌跳舞，捧腹大笑，而且我们还一起感动得流泪。小孩们用日文提问，她们用中文回答，一起洗澡一起睡觉。儿子要和中国的朋友们一起照有趣纪念相(Print-Club)，女儿教了刚学会的手话歌《为了成为朋友》。

在欢送会的余韵中，女儿小声说“妈妈，与任何地方的任何人一定能互相理解(手话歌里的一段)，这是真的。”我不知不觉地紧抱了她。

从那以后，我们全家在报纸上或电视上一发现“中国”的一句话，就每次向前探身。这次我们自愿担任民宿家庭，却承蒙了许多感谢之话语、感谢文和极漂亮的纪念相册，而且给我们的心里留下了无形的、用语言表达不出来的、非常宝贵的东西。我们在此向各位中国朋友们和青少年育成县民会议的各位工作人员表示感谢。

谢谢。



## 实施情况等资料

# 1. 迄今为止实施的青年邀请计划一览表

## (1) 新中日青年友谊计划

### ●1993年度(98名)

	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
青年工作者	25	日本教科文协会联盟	新 泻	关 东	新潟教科文协会
经 济	24	日本经济青年协议会	鹿儿岛	九 州	(财)鹿儿岛县国际交流协会
公务员	25	国际交流服务协会	三 重	东 海	三重县联合青年团
教 员	24	青年海外协力协会	冈 山	中 国	津山与亚洲团结会

### ●1994年度(100名)

	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
青年工作者	25	青少年育成国民会议	岩 手	东 北	(财)岩手县国际交流协会
青年职工	25	日本经济青年协议会	鹿儿岛	九 州	(财)鹿儿岛县国际交流协会
公务员	25	日本青年旅舍协会	宫 城	东 北	宫城县青年旅舍协会
教 员	25	青年海外协力协会	石 川	北 陆	(财)石川县国际交流协会

### ●1995年度(98名)

	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
青年工作者	25	日本青年团协议会	冈 山	中 国	(财)冈山县青年馆
青年职工	25	日本经济青年协议会	三 重	东 海	三重县联合青年团
公务员	23	国际交流服务协会	长 崎	九 州	(财)长崎县国际交流协会
教 员	25	日本教科文协会联盟	福 岛	东 北	福岛教科文协会

### ●1996年度(100名)

	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
青年工作者	25	日本青年旅舍协会	宫 城	东 北	宫城县青年旅舍协会
经 济	25	日本经济青年协议会	长 崎	九 州	长崎县世界青年友好之会
公务员	25	青年工作者能力开发协会	福 井	北 陆	武生市国际交流协会
教 员	25	日本国际协力中心	兵 库	关 西	(财)兵库县青少年本部

### ●1997年度(100名)

	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
青年工作者	25	日本青年旅舍协会	宫 城	东 北	宫城县青年旅舍协会
经 济	25	日本经济青年协议会	德 岛	四 国	德岛县日中青年交流协会
公务员	25	青年工作者能力开发协会	岩 手	东 北	(财)岩手县国际交流协会
教 员	25	国际交流服务协会	枥 木	关 东	(财)枥木县青年会馆

## (2) 新中国基层工作人员邀请计划

## ●1993年度(99名)

	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
产业基础设施建设基层工作人员	25	日本国际协力中心	福井	北陆	(财)福井县国际交流协会
经济开发基层工作人员	25	青年工作者能力开发协会	山梨	关东	(财)青少年育成山梨县民会议
地区振兴基层工作人员	24	青少年育成国民会议	冲绳	冲绳	(团)冲绳县青少年育成县民会议
文化、教育基层工作人员	25	世界青少年交流协会	香川	四国	香川县海外派遣朋友会

## ●1994年度(100名)

	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
产业基础设施建设基层工作人员	25	日本国际协力中心	北海道	北海道	苫小牧国际交流中心
经济开发基层工作人员	25	国际交流服务协会	长崎	九州	长崎县世界青年朋友会
内陆地区振兴工作人员	25	日本友爱青年协会	岛根	中国	友爱青年联盟岛根县分部联合会
文化、人材培养(教育)	25	世界青少年交流协会	岐阜	东海	(财)大垣国际交流协会

## ●1995年度(99名)

	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
产业基础设施建设	25	日本青年旅舍协会	鸟取	中国	鸟取青友会
经济开发	24	勤劳厚生协会	爱媛	四国	(财)爱媛县国际交流协会
地区振兴	25	世界青少年交流协会	香川	四国	香川县海外派遣朋友会
人材培养	25	青少年育成国民会议	冲绳	冲绳	(团)冲绳县青少年育成县民会议

## ●1996年度(100名)

	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
产业基础设施建设	25	世界青少年交流协会	山口	中国	世界青年德山朋友之会
经济开发	25	勤劳厚生协会	栃木	关东	栃木县外国青年招聘事业实行委员会
地区振兴	25	日本国际协力中心	鸟取	中国	鸟取青友会
人材培养	25	青年海外协力协会	冲绳	冲绳	(团)冲绳县青少年育成县民会议

## ●1997年度(100名)

	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
产业基础设施建设	25	世界青少年交流协会	兵庫	大阪国际中心	(财)兵库县青少年本部
经济开发	25	勤劳厚生协会	鸟取	中国	鸟取青友会
地区振兴	25	青年海外协力协会	北海道	北海道	十胜国际协会
人材培养	25	青年工作者能力开发协会	冲绳	冲绳	(团)冲绳县青少年育成县民会议

## 2. 1997年度青年邀请计划实施情况一览表

邀请日期	国家	领域	人数	实施协助团体	实施都道府县
5月15日 ↓ 6月13日 第1批 116名	印度尼西亚	社会开发	25	日本青年旅舍协会	大分
	印度尼西亚	经济A	20	日本经济青年协议会	福井
	印度尼西亚	经济B	24	勤劳厚生协会	群馬
	菲律宾	教育	22	青少年育成国民会议	山梨
	菲律宾	社会开发	25	国际交流服务协会	富山
5月21日 ↓ 6月19日 第2批 117名	新加坡	教育	21	世界青少年交流协会	石川
	新加坡	社会开发	25	勤劳厚生协会	大阪
	新加坡	经济B	24	日本国际协力中心	大阪
	泰国	教育	22	青年海外协力协会	京都
	泰国	社会开发	25	日本友爱青年协会	石川
6月4日 ↓ 7月3日 第3批 100名	越南	公务员	25	公务研修协议会	北海道
	越南	经济	25	国际交流服务协会	大阪
	马来西亚	经济经营	25	青少年育成国民会议	福岛
	马来西亚	中小企业	25	日本青年旅舍协会	石川
6月19日 ↓ 7月18日 第4批 94名	新加坡	经济A1	20	青年工作者能力开发协会	广岛
	新加坡	经济A2	24	日本经济青年协议会	京都
	柬埔寨	教育	30	青少年育成国民会议	冲绳
	老挝	农业有关公务员	20	高知县国际交流协会	高知
6月26日 ↓ 7月25日 第5批 88名	太平洋多国团	公务员	23	国际交流服务协会	埼玉
	太平洋多国团	教员	24	日本国际生活体验协会	三重
	巴布亚新几内亚	公务员	10	世界青少年交流协会	富山
	巴布亚新几内亚	教员	19	青年海外协力协会	北海道
	斐济	公务员	12	日本国际协力中心	静岡
7月2日 ↓ 7月31日 第6批 97名	韩国	青年工作者、公务员	25	日本青年旅舍协会	长崎
	韩国	青年职工(事务系)	24	勤劳厚生协会	北海道
	韩国	教员(小学校)	23	世界青少年交流协会	茨城
	韩国	学生(人文·社会科专业)	25	青年海外协力协会	熊本
8月20日 ↓ 9月18日 第7批 117名	越南	教育	25	青年工作者能力开发协会	宫崎
	越南	农业	24	青年海外协力协会	德岛
	菲律宾	经济A	20	日本国际协力中心	鹿儿岛
	菲律宾	经济B	24	日本经济青年协议会	香川
	菲律宾	农业	24	秋田县国际交流协会	秋田·青森
8月28日 ↓ 9月26日 第8批 90名	孟加拉国	保健医疗	19	国际护理交流协会	山梨
	不丹、马尔代夫	教育	10	青少年育成国民会议	岛根
	印度	教育(理数科教员)	24	世界青少年交流协会	岐阜
	尼泊尔	教育(小学教员)	7	世界青少年交流协会	长野
	斯里兰卡	教育	10	日本教科文协会联盟	佐贺
	巴基斯坦	公务员(社会福利)	20	日本国际协力中心	新潟



邀请日期	国家	领域	人数	实施协助团体	实施都道府县
9月10日	泰国	农业	25	青年海外协力协会	静岡
10月9日 第9批 114名	泰国	经济A	20	日本青年旅舍协会	爱媛
	泰国	经济B	24	勤劳厚生协会	爱知
	文莱	社会开发	15	日本国际协力中心	北海道
	缅甸	教育	20	世界青少年交流协会	群馬
	蒙古	青年职工	10	国际交流服务协会	和歌山
9月18日	马来西亚	农业开发	16	日本青年团协议会	冈山
10月17日 第10批 113名	马来西亚	教育	25	日本国际生活体验协会	北海道
	马来西亚	科学技术开发	25	丰川市国际交流协会	爱知
	印度尼西亚	农业	25	世界青少年交流协会	香川
	印度尼西亚	教育	22	青年海外协力协会	山形
10月8日	中国	青年工作者	25	日本青年旅舍协会	富城
11月6日 第11批 100名	中国	经济	25	日本经济青年协议会	德岛
	中国	公务员	25	青年工作者能力开发协会	岩手
	中国	教员	25	国际交流服务协会	栃木
10月16日	非洲				
11月14日 第12批 95名	英语国家分团	女教员1	26	大阪府国际交流财团	大阪
	法语国家分团	女教员2	20	青年海外协力协会	冈山
	英语国家分团	经济开发公务员1	23	青少年育成国民会议	爱媛
	法语国家分团	经济开发公务员2	26	世界青少年交流协会	山口
10月22日	东盟多国团	教育1	18	爱知县国际交流协会	爱知
11月20日 第13批 89名	东盟多国团	教育2	18	日本国际生活体验协会	北海道
	东盟多国团	经济1	18	国际交流服务协会	千葉
	东盟多国团	经济2	18	青少年育成国民会议	福冈
	东盟多国团	经济3	17	勤劳厚生协会	冈山
	东盟多国团	环境保护	30	日本经济青年协议会	北海道
11月5日	东盟多国团	社会福利	30	日本青年旅舍协会	广岛
12月4日 第14批 113名	东盟多国团	保健医疗	29	国际护理交流协会	长野
	东盟多国团	行政A	24	公务研修协议会	福冈
	东盟多国团	行政B	24	公务研修协议会	福冈
	东盟多国团	行政C	24	公务研修协议会	福冈
11月19日	中国	产业基础设施建设	25	世界青少年交流协会	兵库
12月18日 第15批 100名	中国	经济开发	25	勤劳厚生协会	鸟取
	中国	地区振兴	25	青年海外协力协会	北海道
	中国	人材培养	25	青年工作者能力开发协会	冲绳
	中国	人材培养	25	青年工作者能力开发协会	冲绳
1月21日	中南美多国团	社会福利1	25	青少年育成国民会议	冲绳
2月19日 第16批 50名	中南美多国团	社会福利2	25	日本国际协力中心	冲绳
合计	72个分团 1,593名	东盟6国(791名), 缅甸(20名), 太平洋14国家及地区(88名), 中国(200名), 韩国(97名), 西南亚洲7国(90名), 蒙古(10名), 非洲39国, 1个国际组织(95名), 印支3国(149名), 中南美11国(50名)			



---

**青年招へい事業 一中国一 【交流レポート】 (1997)**

平成10年3月31日

発行 国際協力事業団研修事業部青年招へい課  
〒151-8558 東京都渋谷区代々木2丁目1-1  
新宿マインスタワー  
電話 (03)5352-5402～3

編集 財団法人国際協力センター国際交流部  
〒163-0409 東京都新宿区西新宿2-1-1  
新宿三井ビル9F  
電話 (03)5322-2561

---

無断転載を禁じます。





